

令和7年度 グループホームとまり木荘  
地域連携推進会議 議事録

日 時： 令和8年2月19日（木）  
10：00～11：00

場 所：グループホームとまり木荘  
面談室

- 出席者：グループホームとまり木荘 入居者代表 1名  
グループホームとまり木荘 入居者家族代表 1名  
地域の関係者 1名  
グループホームとまり木荘 管理者  
障害者自立支援センター「和」 主任  
グループホームとまり木荘 サービス管理責任者  
グループホームとまり木荘 生活支援員

○会議内容

1. 委員のご紹介

2. グループホーム内の見学

3. 議題

① 入居者の日常生活の様子

- ・入居者内訳：男性8名、女性3名、計11名 ※その他に、体験利用複数名あり
- ・日中活動先：精神科デイケア、地域活動支援センター、就労継続支援B型、  
就労継続支援A型、一般就労（障害者雇用）
- ・休日の過ごし方：日中活動のない日は各々で自由に過ごされている  
平日・休日を問わず門限は6：00～18：00  
※門限時間外の外出・帰居の際は、夜間対応者携帯へ連絡を入れる  
外泊時及び4時間を超える外出時は届出を提出してもらう
- ・食事について：朝食 各自で準備  
昼食 平日は日中活動先で、休日は自炊の方が多い（弁当注文も可）  
夕食 平日・休日共に弁当（又はおかずのみ）注文する方が多い

② 支援内容

- ・服薬管理 ・受診同行 ・買い物同行 ・調理支援 ・掃除支援 ・入浴支援 等

③ 職員の状況

- ・常勤職員：2名 ・パート職員：3名

④ 地域との連携

- ・コロナ禍前は和祭り開催し、入居者・家族に加え地域の住民も多く参加されていたが、近年は規模を縮小し開催しているため地域の方の参加はなし。  
今後、地域との関りを増やしていくために新たな活動の実施を検討していきたい。

⑤ 緊急時・災害時の対応について

- ・入居者避難訓練を年2回実施（春：火災想定、秋：地震・津波想定）  
今後は、職員不在を想定した避難訓練をさらに強化していきたい。
- ・SECOMの設置  
各部屋にSECOMの緊急通報ボタンがあり、非常時はボタンを押すことでSECOMのスタッフと和職員が駆け付ける体制になっている。

⑥ 入居者事故報告等

- ・昨年入居者の転倒2件あり（同一利用者）  
出かける際の声かけ、靴など履物の確認を徹底することで再発防止に努める。

⑦ 運営状況

- ・8月からガス代、11月から水道代、今年の3月から電気代が自己負担に変更となっている。  
入居者・家族の負担が増えており、生活費も考慮すると障害年金のみでは支払いが難しくなっている現状がある。
- ・現在アパートを1棟借りてグループホームとして運営しているが、建物や設備の老朽化が進んでおり、将来的には施設の移転も検討していかなければならない。移転を考えるうえで、日中活動先へのアクセスの問題や費用負担増等の懸念がある。

4. 意見交換（グループホーム運営に対する意見・感想など）

【入居者代表】：グループホームでの生活はお金がかかって厳しい。

【家族代表】：いつもお世話になってありがたいと感じている。

【地域の関係者】：ここは夜間帯に職員がいないので災害時が心配。近所とのつながりがあれば、災害時に気にかけてもらうこともできるかもしれない。

【管理者】：まずは地域の方にグループホームの存在を知ってもらうことが必要。

来年度以降、グループホーム入居者・職員で近所のクリーンアップを定期的に行う等地域とのつながりを持てるような活動を検討していきたい。

以 上